

# JICA 食と農の協働プラットフォーム (JiPFA) 設立記念フォーラム

## プログラム (案)

- 【日 時】 2019年4月25日(木) 15:00~18:00 (受付14:30~)
- 【会 場】 JICA 研究所 国際会議場
- 【主 催】 独立行政法人 国際協力機構 (JICA)
- 【後 援】 外務省、農林水産省
- 【協 力】 グローバル・フードバリューチェーン(GFVC)推進官民協議会、日本農業新聞、  
国際開発ジャーナル社

### 趣旨説明

世界の農業・農村開発を取り巻く状況は、グローバル化の急速な進展、気候変動、食料価格の高騰、所得の向上に伴う食料に対する嗜好の変化、民間セクターの参入拡大、世界的な農地争奪など、大きく変化しています。特に多くの開発途上国では農業従事者が人口の過半数を占め、また貧困層の4分の3が農村部に居住しており、こうした変化の影響を最も受けやすい状況にあります。2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」においてもゴール2として「飢餓をゼロに」が挙げられており、国民に安定的に必要な食料を供給する食料安全保障は、途上国・日本を問わず社会と経済の安定の基礎となる重要な政策課題です。

これらの課題に対処するため JICA では、「グローバル・フードバリューチェーン戦略」に基づくフードバリューチェーンの強化、市場志向型農業の推進や稲作振興、アフリカ地域を中心とした栄養改善、自然災害に対する強靱性の強化などに取り組んでおりますが、こうした取り組みを加速化するためには、日本の産官学がそれぞれの強みを生かして更なる連携を行っていくことが期待されています。

こうした状況を踏まえ、今般多くの推薦人や関係者のご賛同をいただき、「JICA 食と農の協働プラットフォーム (通称: JiPFA)」を立ち上げることと致しました。今後 JiPFA を通じて、SDGs の達成に向けて、農林水産、食料・栄養分野における関係省庁、政府機関、大学/研究機関、民間企業/業界団体、市民社会、国際機関駐日事務所といった本邦関係者が途上国及び日本の課題解決のための活動を促進して参ります。

今回の JiPFA 設立フォーラムでは、JiPFA の概要や活動計画についてご紹介させて頂くとともに、日本の産官学の多くの関係者間での更なる産官学連携に向けた意見交換やネットワーキングを進めることを目指します。

### —開会—

- 15:00~15:05 開会挨拶  
越川 和彦 (JICA 副理事長)

—講演—

15：05～15：15 **JiPFA 立上げに当たっての関係者祝辞**  
関係省庁等

15：15～15：55 **基調講演** ～途上国の食と農に取り組む民間企業の挑戦と課題～  
岩佐 大輝（株式会社 GRA 代表取締役社長）  
鈴木 雅剛（株式会社ボーダレス・ジャパン 代表取締役副社長）  
小谷 あゆみ（フリーアナウンサー、農業ジャーナリスト）  
緒方 一夫（九州大学・副学長／熱帯農学研究センター・センター長）

15：55～16：05 **JiPFA 概要、活動計画のご説明**  
宍戸 健一（JICA 農村開発部・部長）

—パネルディスカッション—

16：05～17：00 **産官学協働の促進に向けた JiPFA への期待**

【パネリスト】

大橋 康隆（カゴメ株式会社 国際事業本部企画管理部課長）  
高田 直幸（カタギ食品株式会社 取締役社長）  
板垣 啓四郎（東京農業大学教授・グローバル・フードバリューチェーン推進官  
民協議会代表）  
井関 ふみこ（ササカワ・アフリカ財団常務理事）  
加藤 宏（JICA 理事）

【モデレーター】

緒方 大造（日本農業新聞論説委員）

—閉会—

司会：睦好 絵美子（JICA 農村開発部・次長）

—名刺交換会—

17:30-18:00

自由歓談（立食形式）

場所： JICA 研究所 国際会議場外のオープンスペース